

情報通信技術の活用学ぶ 神戸 中高生の障害者、就労支援



ソフトを使って自己紹介を作成する生徒＝神戸市東灘区向洋町中6

障害のある中高生を対象にした情報通信技術（ICT）活用の講習会が31日、神戸市東灘区の社会福祉法人アロップ・ステーション（神戸ファッションマート内）で始まった。

障害者の就労支援などに取り組む同法人が、ICTを体験し、将来の選択肢を考える場にしてもらおうと、神戸市の委託を受けて2017年から実施する。

この日の講習会には15人が参加し、プレゼンテーションソフトで自己紹介を作成。マンガやゲームの人気

キャラクターを描くなど、それぞれ工夫を凝らした。竹中ナミ理事長（70）は、ICTを学んでイラストレーターとなったくぼりえさんについて紹介。「若い人がコンピューターになじんで、将来を設計してくれるとうれしい」と願いを語った。

7日まで全6回の開催で、パソコンの基本操作やプレゼンソフトの活用方法を学ぶ。最終回では、参加者による発表が行われる予定。

（長沢伸一）